

経済産業省ヒアリング

2026年度第1四半期の切板需要動向



2026年3月27日（金）

於 経済産業省

 全国厚板シェアリング工業組合

2026年度第1四半期の切板需要動向

全国厚板シェアリング工業組合

1. 全体業況

	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度平均
① 切断量	2018	153	147	155	145	150
	2019	143	143	131	126	136
	2020	113	110	117	119	115
	2021	128	125	128	125	127
	2022	128	129	135	125	129
	2023	127	122	123	117	122
	2024	114	107	113	106	110
	2025	108	105	110	110	108
	2026	110				
② 受入	2022	170	162	156	150	160
	2023	145	143	145	144	144
	2024	144	128	126	125	131
	2025	139	128	132	130	132
	2026	130				
③ 出荷	2022	158	161	165	155	160
	2023	155	147	149	141	148
	2024	139	132	134	132	133
	2025	134	130	134	130	132
	2026	130				
④ 期末在庫	2022	463 (293)	466 (289)	441 (267)	415 (268)	—
	2023	387 (250)	374 (254)	363 (244)	372 (264)	—
	2024	387 (278)	376 (287)	355 (265)	335 (254)	—
	2025	350 (262)	346 (266)	336 (251)	336 (258)	—
	2026	336 (258)				

※網掛け部は、事務局推計値。単位：千ト/月平均

(前回推計値との差)	2025年度 3/Q		2025年度 4/Q	
	前回推計	今回	前回推計	今回
切断量 (千ト/月平均)	110	110	105	110
受入 (千ト/月平均)	130	132	125	130
期末在庫 (千ト)	342	336	346	336
在庫率 (%)	266	251	277	258

2. 足元の状況総括

分野別の需要動向としては、建材分野は鉄骨・橋梁ともに過去最低レベルの活動水準が今後も続き、建産機分野も足下は低位で若干の回復は来年度期待という状況。したがって、店売りマーケットでは仕事量不足による市況への下押し圧力は継続したままである。加えて、輸入鋼材や海外鉄骨採用拡大の動きも一部で定着化。また、あらゆるコストは高止まり或いは上昇の状況は変わらない。

需要動向を反映して、当組合の切断量についても低空飛行が続く中、第3四半期の切断量は季節性から例年通り対前期増、また、対前年同期比では連続マイナスは続いているものの、前期に引き続き微減に踏み留まったことから、今後、底打ちも期待したいところ。また、直近、メーカーの値上げ姿勢が広がりつつあり、これを足掛かりに切板市況是正に繋がるように取り組んでいきたい。

改めて、市況の維持や工賃の適正化（取引適正化）を押し進めていくことが一層重要な局面となっている。関係省庁・日本鉄鋼連盟・鉄鋼各社に於かれても、ご支援ご指導をお願いしたい。

3. 全国概況

(1) 概況

日本経済は、今後緩やかな回復が期待されるものの、足元では内外需ともに力強さに欠ける状況が継続している。

国内鉄鋼需要産業別に見ると、四輪車生産は2025年12月に4ヶ月ぶりに増加したが、2026年1月は前年同月比で再び減少を記録した。また、産業機械関連では鋳工業生産は前年同月比微増が継続、建設関連では非住宅着工床面積が1月は前年同月比8ヶ月ぶりに増加する結果となっている。

このような状況下、厚板シェアリング業界に於いては、多くの分野で依然仕事量の回復が見られない状況が続いている。また、あらゆるコストの高原状態も続いてきているなか、高止まりしてきた高炉材価格が更に為替影響も含めた原料コストをはじめ諸コストの上昇を背景に足元値上げ要請が始まっており、今後、値上がりしていく見込みである。

当業界としては、取引適正化の取り組みを今まで以上に強化し、着実に需要家への価格転嫁を進めていくことが重要な課題となっている。

(2) 鉄骨

2025年暦年の鉄骨需要は前年比8.4%減の344万トンとなり、3年連続で400万トン割れを記録し、需要低迷が長期化しており、引き続き全国各地で仕事量確保に苦慮している。現状の規模で推移すると、2025年度の需要量は350万トン程度にとどまると見られ、2024年度366万トンを下回る見込みである。

鋼材を含む原材料の高騰から始まった建設コストの高騰継続による建設予算との乖離や建設業界全体での人材不足、図面承認遅れ等による工程のずれ込み影響により、大型案件も含め計画物件の中断や着工延期、計画見直しが依然続いている。当面は需要停滞が続く見込みではあるが、足元レベルを底に早期の需要回復が待たれる。

(3) 橋梁・土木

2025年度橋梁入札量実績は上期までの極めて低位な需要規模(上期実績25千トン)で推移すると、今年度は過去最低となった2024年度(135千トン)を大きく下回り、100千トン割れが必至の状況である。

大阪湾岸西伸線等の大型案件の本格発注が想定される27年度下期以降まで厳しい状況が続く見込みである。

(4) 建機

建機の世界需要については、米国関税影響を踏まえ、北米向けを中心に不透明感が強く、2025年度は前年比減少見込みであるが、日本国内メーカーの生産計画は前年比並みが見込まれる。

日本建設機械工業会が公表している2026年度の建設機械出荷金額予測は、前年度1%増の見通しである。米国の関税影響はあるものの、米国内での投資需要を見込むことに加え欧州向けが回復して微増、3年ぶりにプラスに転じる見込みである。

(5) 産機

2026年1月の工作機械受注金額は、前月比は8.2%の減となったが、前年同月比では7か月連続での増加を記録した。幅広い分野であり、個々に状況は異なると思われるが、自動化・省人化ニーズ等を背景とした需要回復が期待される。

(6) 船舶・その他

日本船舶輸出組合によれば、2026年1月末時点で、日本の造船所は、各社人材不足や機器調達難等による建造ピッチ抑制が継続するなか、手持工事量は3年半以上を引き続き確保している。こうした中で既報のとおり、政府の造船業の設備投資を支援する「造船業再生基金」が設置されることとなり、2035年に現在の建造量を倍増させる目標を掲げ、今後10年間で3500億円規模の財政支援が期待されるが、厚板シェアリング業界への効果は限定的と思われる。

2025年度および2026年度の需要は、2024年度ほぼ横ばいの250万トン台の水準で推移していく見込みである。

(7) 店売り

建築・土木関連や産業機械部門での低調継続、建機部門では今後の需要回復の動きが期待されるものの特定のシャーでの仕事量に限られる見込みで、全体的にはシャー仕事量は漸減傾向が続く見込みであることから、市況は弱含みで推移している。

(8) このように厚板シェアリング業界を取り巻く環境は厳しいなかではあるが、現状を需要の底と捉えて市況維持、コスト転嫁に注力していく必要がある。

4. 2025年度 活動計画(委員会活動)と実績・予定

(1) 取引適正化委員会

- 1) 取引適正化活動の推進
- 2) ミルシートに関する諸課題改善活動の推進
- 3) DX 推進部会：デジタル庁事業への参画（2025 年度事業）

【主な動き/報告済】

- 2025/5/14 15:30～ 鉄鋼連盟/情報化委員会との意見交換会
- 2025/9/17 15:30～ 鉄鋼連盟/情報化委員会との意見交換会
- 2025/10/9 15:00～ 鋼材品質管理電子化研究会/第 1 回全体会議
- 2025/11/6 13:00～ 鋼材品質管理電子化研究会/第 2 回全体会議
- 2025/11/14 16:00～ 取適法改正説明会@経産省（染宮）
- 2025/11/27 10:00～ 鋼材品質管理電子化研究会/WG2WG3 ミーティング
- 2025/12/9 13:00～ 鋼材品質管理電子化研究会/第 3 回全体会議

【主な動き/今回報告】

- 2026/2/13 13:00～ 鋼材品質管理電子化研究会/第 4 回全体会議（中間報告会）
- 2026/3/11 13:00～ 鋼材品質管理電子化研究会/第 5 回全体会議

(2) 総務委員会

- 1) 本部活動の推進、各支部活動の活性化支援。
- 2) 組合員に対する特定技能制度に関する情報提供・発信、及び行政からの要請・依頼への適切な対応。（ex：育成就労制度）
- 3) 事務局業務の改善支援
- 4) 組合員への情報発信体制再構築の検討

【主な動き/報告済】

- 2025/6/24 12:00～ 鉄鋼会館 総務委員会（第 166 回）@鉄鋼会館 806
- 14:45～ 経済産業省ヒアリング @経済産業省
- 16:15～ 定例記者会見 @鉄鋼会館 6F
- 2025/9/26 12:00～ 鉄鋼会館 総務委員会（第 167 回）@鉄鋼会館 806
- 14:45～ 経済産業省ヒアリング @経済産業省
- 16:15～ 定例記者会見 @鉄鋼会館 6F
- 2025/12/25 11:00～ 鉄鋼会館 総務委員会（第 168 回）@鉄鋼会館 806
- 14:45～ 経済産業省ヒアリング @経済産業省
- 16:15～ 定例記者会見 @鉄鋼会館 6F

【主な動き/今回報告】

- 2026/3/27 11:00～ 鉄鋼会館 総務委員会（第 169 回）@鉄鋼会館 806
- 14:45～ 経済産業省ヒアリング @経済産業省
- 16:15～ 定例記者会見 @鉄鋼会館 6F

(3) 市場委員会

- 1) 市場実態の的確な把握とZSK活動への反映（需要動向等）
- 2) ZSK景況感アンケートの実施（WEB回答の更なる促進）
- 3) 会議形式（リアル会議・WEB会議）を組み合わせ効率的な運営を図る。

【主な動き/報告済】

- 2025/ 6/11 15:00～ WEB 会議 市場委員会（第 205 回）
- 2025/ 9/10 15:00～ WEB 会議 市場委員会（第 206 回）
- 2025/12/10 15:00～ WEB 会議 市場委員会（第 207 回）
- 2026/ 3/11 15:00～ WEB 会議 市場委員会（第 208 回）

【主な動き/今回報告】

- （予定）2026/ 6/10 15:00～ WEB 会議 市場委員会（第 209 回）

(4) 技術委員会

- 1) 職場改善に資するイベント企画運営（技術セミナー・セッサタクマ会等）
- 2) 組合員に有用な技術・ツール等の紹介・勉強会の企画検討
- 3) 技術委員会社間の現場交流会企画（技術委員会の持ち回り開催）
- 4) 日本溶接協会からの要請への対応（必要に応じて）

【主な動き/報告済】

- 2025/7/4 10:30～ 3M ジャパン見学会（最新研磨材体験）
- 2025/9/1 11:00～ 2025 年度第 1 回技術委員会 @zoom
- 2025/10/6 14:00～ 2025 年度第 2 回技術委員会 @JFE 鋼材東京事業所
- 2026/1/26 13:00～ 職場改善発表大会 @伊藤忠丸紅鉄鋼本社

【主な動き/今回報告】

(5) 事業委員会

- 1) ZSKにおける事業全般の検討及び支援を行う。
- 2) ZSK創立50周年事業の検討・準備・企画
- 3) 企画青年部会の支援
- 4) 企画青年部会：全国青年交流会の企画運営

【主な動き/報告済】

- 2025/5/27 15:00～ 企画青年部会（第 3 回）/役員体制・今期活動確認
- 2025/6/13 13:30～ 事業委員会（第 4 回）/創立 50 周年記念事業検討
- 2025/6/13 15:30～ 企画青年部会合流合同会議/全国青年交流会企画
- 2025/8/21 13:30～ 事業委員会（第 5 回）/創立 50 周年記念事業検討
- 2025/10/2 13:00～ 事業委員会（第 6 回）/創立 50 周年記念事業検討
- 2025/10/2 15:30～ 全国青年交流会（第 5 回鐵人フォーラム）@北海道
- 2025/11/4 11:00～ 創立 50 周年記念事業会場現地調査

2025/11/27 14:00～ 事業委員会（第7回）/創立50周年記念事業検討

【主な動き/今回報告】

2026/2/25 15:00～ 事業委員会（第8回）/創立50周年記念事業の進捗確認
 (予定)2026/4/15 12:00～ 事業委員会（第9回）/創立50周年記念事業の進捗確認

(6) 安全衛生委員会

- 1) 災害統計調査と実績共有化
- 2) 災害事例の収集と共有化

【主な動き/報告済】

2025/4/14 2024年度災害統計の集計作業開始
 2025/9/8 2024年度災害統計・災害事例発表（統計協力会社への報告）
 2025/10/31 2024年度災害統計のHP掲載、機関誌10月号掲載

【主な動き/今回報告】

(7) その他

- 1) 本部支部懇話会等を通じて支部組合員との交流を促進し、各支部の特徴に合わせた活動活性化を支援する。
- 2) 積極的なWEB活用により、会議・会合・研修・教育等の充実（参加機会の拡大等）を図り、組合活動の更なる活性化に繋げる。
- 3) 全国支部長・委員長会議は、8支部・6委員会の連携と活動活性化（活動実績や方針の共有化等）を目的に開催する。（鉄鋼流通団体賀詞交歓会と同日開催を基本）

【主な動き/報告済】

2025/6 関西支部（大阪支部・神姫支部統合）発足に対するHP及び名簿の変更
 2025/10/22 理事会（第127回） 2025年度中間決算報告及び補正予算審議
 2026/1/9 全国支部長委員長会議 本年度事業報告と支部状況確認

【主な動き/今回報告】

(予定) 2026/4 九州支部総会(4/3 @武雄)、東海支部総会(4/10@岐阜)、
 関西支部総会(4/17@京都)、東京支部総会(4/20 @鉄鋼会館)
 (予定) 2026/4/15 理事会（第128回） 通常総会議案審議

 (予定) 2026/5/29 通常総会（第51期）
 創立50周年記念パーティー

ZSK景況感アンケート（2026年3月） 集計結果

今回（2026年3月）に実施した景況感アンケート結果

1. アンケート実施時期 2026年3月
2. 集計結果（全国）

10-12月の状況と足元（1-3月）の景況感

回答	回答数	回答比率
A 良くなった	3	3%
B 若干良くなった	18	16%
C 同レベル	52	47%
D 若干悪くなった	20	18%
E 悪くなった	18	16%

景況感指数
43

足元の景況感 昨年同期と比べて

回答	回答数	回答比率
A 良くなった	3	3%
B 若干良くなった	17	15%
C 同レベル	40	36%
D 若干悪くなった	31	28%
E 悪くなった	20	18%

景況感指数
39

4-6月の見通し

回答	回答数	回答比率
A 良くなる	0	0%
B 若干良くなる	30	27%
C 同レベル	60	54%
D 若干悪くなる	16	14%
E 悪くなる	5	5%

景況感指数
51

切断量 <鋼板流通調査> [千トン]

1月単月

107

過去の景況感

2025年度	2024年度	2023年度	2022年度
--------	--------	--------	--------

景況感（足元 対 前四半期）

2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3
47	39	37	32	39	35	32	30	47	45	44	37	53	50	48	

景況感（足元 対 昨年同期）

2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3
36	33	27	26	23	23	24	29	36	36	36	40	53	50	51	

次の四半期の見通し

2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6
51	44	43	43	41	42	44	44	44	44	50	53	50	53	53	56

切断量3ヶ月平均 <鋼板流通調査> [千トン]

2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
10-12 3Q	7-9 2Q	4-6 1Q	1-3 4Q	10-12 3Q	7-9 2Q	4-6 1Q	1-3 4Q	10-12 3Q	7-9 2Q	4-6 1Q	1-3 4Q	10-12 3Q	7-9 2Q	4-6 1Q	1-3 4Q
110	114	108	105	113	107	114	117	123	122	127	125	135	129	128	
111				110				122				129			

3. ZSK景況感アンケート回収状況

支部	組合員数	回答社数	支部回収率
C.東京支部	63	47	75%
E.東海支部	34	17	50%
H.九州支部	20	16	80%
F.関西支部	24	15	63%
A.北海道支部	5	4	80%
G.中国支部	4	4	100%
B.東北支部	5	4	80%
D.新潟支部	4	4	100%
全国	159	111	70%

※景況感指数： 景況感を次の計算式で数値化
 回答率A*100 + 回答率B*75 回答率C*50 回答率D*25

ZSK景況感アンケート（2026年3月）/支別集計表

(回答社数降順)

支店	10-12月の状況と足元（1-3月）の景況感					単位[社]	総計
	A.良くなった	B.若干良くなった	C.同レベル	D.若干悪くなった	E.悪くなった		
C.東京支店	1	9	23	10	4	47	
E.東海支店		2	9	4	2	17	
H.九州支店			6	2	8	16	
F.関西支店	1	3	7	1	3	15	
G.中国支店		1	1	1	1	4	
A.北海道支店	1	1	2	1		4	
B.東北支店		1	2	1		4	
D.新潟支店		1	2	1		4	
総計(全国)	3	18	52	20	18	111	
		21			38		
		19%			47%		

支店	回答比率					景況感指数
	A.良くなった	B.若干良くなった	C.同レベル	D.若干悪くなった	E.悪くなった	
C.東京支店	2%	19%	49%	21%	9%	46
E.東海支店		12%	53%	24%	12%	41
H.九州支店			38%	13%	50%	22
F.関西支店	7%	20%	47%	7%	20%	47
G.中国支店	25%	25%	25%	25%	25%	38
A.北海道支店	25%	25%	50%	25%		69
B.東北支店	25%	25%	50%	25%		50
D.新潟支店	25%	25%	50%	25%		50
総計(全国)	3%	16%	47%	18%	16%	43

支店	足元の景況感 昨年同期と比べて					単位[社]	総計
	A.良くなった	B.若干良くなった	C.同レベル	D.若干悪くなった	E.悪くなった		
C.東京支店		10	20	11	6	47	
E.東海支店		1	5	9	2	17	
H.九州支店		2	5	4	5	16	
F.関西支店	3	1	5	4	2	15	
G.中国支店		1	1	2	1	4	
A.北海道支店	2		1	1	1	4	
B.東北支店			3	1	1	4	
D.新潟支店			1	1	2	4	
総計(全国)	3	17	40	31	20	111	
		20			51		
		18%			46%		

支店	回答比率					景況感指数
	A.良くなった	B.若干良くなった	C.同レベル	D.若干悪くなった	E.悪くなった	
C.東京支店		21%	43%	23%	13%	43
E.東海支店		6%	29%	53%	12%	32
H.九州支店		13%	31%	25%	31%	31
F.関西支店	20%	7%	33%	27%	13%	48
G.中国支店	25%	25%	50%	50%	25%	31
A.北海道支店	50%	50%	75%	25%	25%	50
B.東北支店	25%	25%	75%	25%	25%	38
D.新潟支店	25%	25%	25%	25%	50%	19
総計(全国)	3%	15%	36%	28%	18%	39

支店	4-6月の景況感					単位[社]	総計
	A.良くなる	B.若干良くなる	C.同レベル	D.若干悪くなる	E.悪くなる		
C.東京支店		8	30	7	2	47	
E.東海支店		7	7	3		17	
H.九州支店		4	9	2	1	16	
F.関西支店		3	10	1	1	15	
G.中国支店		3	1	1		4	
A.北海道支店		1	3	1		4	
B.東北支店		2	1	1		4	
D.新潟支店		2	1	1	1	4	
総計(全国)	0	30	60	16	5	111	
		30			21		
		27%			19%		

支店	回答比率					景況感指数
	A.良くなる	B.若干良くなる	C.同レベル	D.若干悪くなる	E.悪くなる	
C.東京支店		17%	64%	15%	4%	48
E.東海支店		41%	41%	18%		56
H.九州支店		25%	56%	13%	6%	50
F.関西支店		20%	67%	7%	7%	50
G.中国支店		75%	25%	25%	0%	63
A.北海道支店		25%	75%	25%	25%	56
B.東北支店		50%	25%	25%	25%	56
D.新潟支店	0%	27%	54%	14%	5%	44
総計(全国)	0%	27%	54%	14%	5%	51

ZSK景況感アンケート（2026年3月）/需要分野別集計表

10-12月の状況と足元（1-3月）の景況感						
需要分野	A.良くなった	B.若干良くなった	C.同レベル	D.若干悪くなった	E.悪くなった	単位[社]
A. 建築	2	7	20	8	7	44
E. 店売り		4	13	6	3	26
D. 産業機械		2	8	2	5	17
C. 建設機械		4	2	1	1	8
H. 船舶/自動車/その他		1	5	2	1	8
B. 橋梁		1	3	1	1	4
G. 重電			3			3
F. 土木			1			1
総計(全国)	3	18	52	20	18	111
	21				38	
	19%		47%		34%	

回答比率					
A.良くなった	B.若干良くなった	C.同レベル	D.若干悪くなった	E.悪くなった	景況感指数
5%	16%	45%	18%	16%	44
	15%	50%	23%	12%	42
	12%	47%	12%	29%	35
	50%	25%	13%	13%	53
	25%	63%	25%	13%	38
		100%	25%	25%	50
		100%			50
	3%	16%	47%	18%	43

足元の景況感 昨年同期と比べて						
需要分野	A.良くなった	B.若干良くなった	C.同レベル	D.若干悪くなった	E.悪くなった	単位[社]
A. 建築	2	7	16	9	10	44
E. 店売り		4	13	6	3	26
D. 産業機械		3	3	9	5	17
C. 建設機械	1	4	1	1	1	8
H. 船舶/自動車/その他		1	3	3	1	8
B. 橋梁		1	1	2		4
G. 重電			3			3
F. 土木				1		1
総計(全国)	3	17	40	31	20	111
	20				51	
	18%		36%		46%	

回答比率					
A.良くなった	B.若干良くなった	C.同レベル	D.若干悪くなった	E.悪くなった	景況感指数
5%	16%	36%	20%	23%	40
	15%	50%	23%	12%	42
		18%	53%	29%	22
13%	50%	13%	13%	13%	59
	13%	38%	38%	13%	38
	25%	25%	50%		44
		100%			50
			100%		25
	3%	15%	36%	28%	39

1-3月の景況感						
需要分野	A.良くなる	B.若干良くなる	C.同レベル	D.若干悪くなる	E.悪くなる	単位[社]
A. 建築		13	20	9	2	44
E. 店売り		8	15	2	1	26
D. 産業機械		3	12	1	1	17
C. 建設機械		3	5			8
B. 橋梁		3	3	2		8
H. 船舶/自動車/その他			2	1	1	4
G. 重電			3			3
F. 土木				1		1
総計(全国)	0	30	60	16	5	111
	30				21	
	27%		54%		19%	

回答比率					
A.良くなる	B.若干良くなる	C.同レベル	D.若干悪くなる	E.悪くなる	景況感指数
	30%	45%	20%	5%	50
	31%	58%	8%	4%	54
	18%	71%	6%	6%	50
	38%	63%			59
	38%	38%	25%		53
		50%	25%	25%	31
		100%	100%		50
	0%	27%	54%	14%	25
				5%	51

ZSK景況感アンケート（2026年3月）/分野別コメント

10-12月の状況と足元（1-3月）の景況感を比べて

状況	需要分野	支部	No	コメント
A. 良くなった	A. 建築	A. 北海道支部	1	全体件数は相変わらず少ないが、遅れていた大型案件が複数発注となった
A. 良くなった	B. 橋梁	C. 東京支部	2	4Qの数量増は一時的要因による
B. 若干良くなった	A. 建築	A. 北海道支部	3	着先の施工の案件に対する納入が増えたもの
B. 若干良くなった	A. 建築	B. 東北支部	4	首都圏の大型物件が進んでいるため
B. 若干良くなった	A. 建築	D. 新潟支部	5	予定案件が動き始めた
B. 若干良くなった	A. 建築	E. 東海支部	6	建築案件の予定が遅れていたものが動き始めた
B. 若干良くなった	B. 橋梁	F. 関西支部	7	10-12月の状況が相当悪かったため、足元も低調ではあるが、3Qより少し改善された。
B. 若干良くなった	C. 建設機械	C. 東京支部	8	建機メーカーの販売促進による増産。在庫過多による急な減産が懸念。
B. 若干良くなった	C. 建設機械	F. 関西支部	9	メインのお客様の販売が好調です。
B. 若干良くなった	D. 産業機械	E. 東海支部	10	まとまった物件確保から若干増加したが、日々の荷動きは依然低調。
B. 若干良くなった	E. 店売り	C. 東京支部	11	若干纏まった物件が動き始めた
B. 若干良くなった	E. 店売り	C. 東京支部	12	年末が底だったと感じます。引き合いも若干増えている感です。
C. 同レベル	A. 建築	A. 北海道支部	13	少ない物量ながら、受注は買えていると思います。
C. 同レベル	A. 建築	B. 東北支部	14	相変わらず悪い
C. 同レベル	A. 建築	C. 東京支部	15	足元は大型物件の一時的な明細集中がある
C. 同レベル	A. 建築	E. 東海支部	16	低位安定
C. 同レベル	D. 産業機械	E. 東海支部	17	土木、射出成形機などで数量増加するもフォークリフトは数量減
C. 同レベル	E. 店売り	C. 東京支部	18	コイルカット鋼板(黒皮) 販売価格の値下げが止まり底値となる。
C. 同レベル	E. 店売り	C. 東京支部	19	需要環境に改善の兆しあまり見えず
C. 同レベル	G. 重電	C. 東京支部	20	大きな変化は感じられない。
C. 同レベル	※船舶/自動車/その他	C. 東京支部	21	主力トラック、建機関連は現時点では大きな変化なし。
D. 若干悪くなった	A. 建築	B. 東北支部	22	例年、冬場は稼働が悪くなるし、受注も減っている。
D. 若干悪くなった	A. 建築	C. 東京支部	23	基本的にはかなり低調な状況は変わりません。
D. 若干悪くなった	A. 建築	D. 新潟支部	24	予定案件の遅れが目立ち、地域の建築案件が少ない
D. 若干悪くなった	A. 建築	E. 東海支部	25	景況感と同レベルでも、相場が悪くなった。
D. 若干悪くなった	A. 建築	H. 九州支部	26	切板の受注量が減少している
D. 若干悪くなった	B. 橋梁	E. 東海支部	27	引き継ぎ低位構建。
D. 若干悪くなった	E. 店売り	C. 東京支部	28	年明け以降も荷動きが悪く低調に推移している。
D. 若干悪くなった	※船舶/自動車/その他	G. 中国支部	29	ミルメーカーからの材料遅れや需要家から出図遅れにより計画通りに稼働が進まない
E. 悪くなった	A. 建築	C. 東京支部	30	これからさらに悪くなっていく
E. 悪くなった	A. 建築	C. 東京支部	31	年が明けてもう一段落ち込んでいる
E. 悪くなった	A. 建築	E. 東海支部	32	もともと加工低位であったが、1月からもう一段下がった。
E. 悪くなった	A. 建築	H. 九州支部	33	量も市況も悪化
E. 悪くなった	B. 橋梁	H. 九州支部	34	客先の橋梁入札受注物件がなく悪くなった。
E. 悪くなった	D. 産業機械	E. 東海支部	35	全体感の荷の動きが更に悪くなっている。
E. 悪くなった	D. 産業機械	H. 九州支部	36	どの業種も悪い
E. 悪くなった	D. 産業機械	H. 九州支部	37	年明け急激に減少
E. 悪くなった	E. 店売り	F. 関西支部	38	11月より右肩下がり

足元の景況感。昨年同期と比べて

状況	需要分野	支部	No	コメント
A. 良くなった	A. 建築	F. 関西支部	1	定時稼働から残業体制に變化
A. 良くなった	C. 建設機械	F. 関西支部	2	昨年同時期は生産台数が少なかったです。
B. 若干良くなった	A. 建築	A. 北海道支部	3	物量自体は少ないものの、昨年同期と比べると良くなっておりです。
B. 若干良くなった	A. 建築	H. 九州支部	4	足元は大型物件の一时的な明細集中がある
B. 若干良くなった	B. 橋梁	C. 東京支部	5	稼働率は上昇したが、収益は副資材の高騰等厳しさが増す傾向にある。
B. 若干良くなった	C. 建設機械	C. 東京支部	6	4Qの数量増は一时的要因による
B. 若干良くなった	C. 建設機械	C. 東京支部	7	建材スポットによる微増。継続ではないが今後は不安が強い。
B. 若干良くなった	F. 関西支部	F. 関西支部	8	造船用ビルトアップロダクション生産量が昨年同期比で一割強増加
C. 同レベル	A. 建築	B. 東北支部	9	年間を通じた数量を見ると差が無い
C. 同レベル	A. 建築	B. 東北支部	10	良くなる兆しが見えない
C. 同レベル	A. 建築	C. 東京支部	11	昨年と変わらない低調なレベルです。
C. 同レベル	A. 建築	D. 新潟支部	12	昨年と同じく物件が少ない
C. 同レベル	A. 建築	E. 東海支部	13	但し引き合いは微増
C. 同レベル	E. 店売り	C. 東京支部	14	景況感と同レベルだが、長らく続いていた販売価格のジリ安傾向が止まり、少しづつ収益が改善している。
C. 同レベル	E. 店売り	C. 東京支部	15	需要環境に改善の兆しあまり見えず
C. 同レベル	C. 東京支部	C. 東京支部	16	メインのトラックメーカーは昨年同期微増で推移中。
D. 若干悪くなった	A. 建築	E. 東海支部	17	物量が少なく波が細かい（昨年にくらべ）でも求められる足が早いという状況が多かったように思います。
D. 若干悪くなった	B. 橋梁	E. 東海支部	18	昨年と比較しても今年の方が悪い。
D. 若干悪くなった	B. 橋梁	H. 九州支部	19	橋梁物件がなく悪くなったがプラント関係の案件が増えたが昨年同時期には及ばなかった。
D. 若干悪くなった	D. 産業機械	E. 東海支部	20	フォークリフトの生産台数減が響く
D. 若干悪くなった	D. 産業機械	E. 東海支部	21	多少あった建築需要が皆無となりました。
D. 若干悪くなった	E. 産業機械	E. 東海支部	22	低位横ばい。どこも仕事少なく競争激化。
D. 若干悪くなった	E. 店売り	C. 東京支部	23	昨年度と比べて数量は増えたが収益は減。価格が下がりがりすぎと思います。
D. 若干悪くなった	E. 店売り	C. 東京支部	24	実需不振により荷動きが低調で価格もジリ安傾向が止まらず
E. 悪くなった	A. 建築	A. 北海道支部	25	営業力不足です
E. 悪くなった	A. 建築	B. 東北支部	26	建築物件がほとんど無しのため、切板受注が落ち込んでいる。
E. 悪くなった	A. 建築	C. 東京支部	27	これからさらに悪くなっていく
E. 悪くなった	A. 建築	C. 東京支部	28	短納期・小ロットだけは飛び込んでくるが、まったく数字にならない
E. 悪くなった	A. 建築	D. 新潟支部	29	建築案件の減少
E. 悪くなった	A. 建築	D. 新潟支部	30	受注の数、内容の重量共に低下している
E. 悪くなった	A. 建築	H. 九州支部	31	量も市況も悪化
E. 悪くなった	D. 産業機械	E. 東海支部	32	全体感の荷の動きが更に悪くなっている。
E. 悪くなった	D. 産業機械	H. 九州支部	33	昨年を下回る動き
E. 悪くなった	E. 店売り	F. 関西支部	34	土木物件も遅れ、建設機械も半減、店売りも悪く、良い分野が無い。

4-6月の見通しについて

状況	需要分野	支部	No	コメント
B.若干良くなる	A.建築	B.東北支部	1	1~3月からみると、4月以降は物件もみえてきているので、若干は良くなる予想。
B.若干良くなる	A.建築	D.新潟支部	2	首都圏案件が予定通り出件されれば良くなる見通し
B.若干良くなる	A.建築	D.新潟支部	3	他の鋼材の予定物件が始まれば、付随して鋼材の上向く可能性がある
B.若干良くなる	A.建築	E.東海支部	4	2026上期は山積み低いが2026下期物件が前倒し加工できることを期待
B.若干良くなる	A.建築	E.東海支部	5	小物ながら見積が決まってきた。
B.若干良くなる	A.建築	G.中国支部	6	工期が伸びた大型物件が動き出す
B.若干良くなる	A.建築	H.九州支部	7	徐々にはあるが山積みが増加傾向
B.若干良くなる	C.建設機械	C.東京支部	8	建機について車種によってパワーツキはあるものプラス要因が強い。建材は引き合いが少ない為若干の増減というレベル。
B.若干良くなる	D.産業機械	E.東海支部	9	フォークリフトの米年度計画は今年度に対し7%程度増加の計画となっているので多少期待したい。
B.若干良くなる	D.産業機械	E.東海支部	10	生産計画は若干良くなる計画にはなっているが、計画通りになるのは不透明。
B.若干良くなる	D.産業機械	H.九州支部	11	季節ものの受注期待
B.若干良くなる	E.店売り	C.東京支部	12	ここに来て某メーカーも値上げの要理気師格転嫁出来る事に期待している。
B.若干良くなる	E.店売り	C.東京支部	13	決まった物件はまだ動き始めそうな案件がいくつか
B.若干良くなる	E.店売り	C.東京支部	14	店売り商店なので見通し立ちません。よって期待を込めて「若干よくなる」です。
B.若干良くなる	E.店売り	C.東京支部	15	ロジは同水準も鋼構造物案件が山高に推移
C.同レベル	A.建築	A.北海道支部	16	札幌圏は多少良いが、北海道内全体感は案件も少なく非常に低水準
C.同レベル	A.建築	A.北海道支部	17	予定物件が順調に動けば昨年と変わらない状態かと思えます。
C.同レベル	A.建築	B.東北支部	18	この状態がしばらく続く
C.同レベル	A.建築	C.東京支部	19	需要の盛り上がりにつけに状況が続く。
C.同レベル	A.建築	C.東京支部	20	足元も悪いが先々の案件も聞えてこない。悪いまま横ばい見込み。
C.同レベル	A.建築	E.東海支部	21	26年度上期は足元と変わらないレベルで推移する見通し。
C.同レベル	A.建築	E.東海支部	22	やや上向き傾向はあるが地元案件なく、都心案件頼みのところが強い。
C.同レベル	A.建築	E.東海支部	23	延びた物件等、動きそうなので昨年同様の動きになると思えます。
C.同レベル	A.建築	H.九州支部	24	店売り主体の中小案件の動きが悪く、機種によってはアイドルが発生する。
C.同レベル	A.建築	H.九州支部	25	良くなる材料がない
C.同レベル	B.構築	H.九州支部	26	構築、プラントの案件が若干増えてきているが量が望めない。
C.同レベル	C.建設機械	F.関西支部	27	上期は同レベルの計画が提示されています。
C.同レベル	D.産業機械	E.東海支部	28	低位横ばいで推移する見立てです。
C.同レベル	E.店売り	C.東京支部	29	高炉、電炉メーカーの紐付き、店売り販売価格動向を注視して販売価格の値戻しを進める。
C.同レベル	E.店売り	F.関西支部	30	25年度を底に横ばいが継続すると予測しています。
C.同レベル	H.船舶/自動車/その他	C.東京支部	31	ユーザとのヒアリング結果は横ばいしないし微増となっている。
D.若干悪くなる	A.建築	B.東北支部	32	6月で大型物件が一段落し、7月以降は非常に厳しい状況となる見込み
D.若干悪くなる	A.建築	C.東京支部	33	4月、国の新年度に入り4月5月は鋼材流通の動きが鈍くなり、さらに生産量落ち込む可能性がある
D.若干悪くなる	A.建築	C.東京支部	34	需要の回復はまだ先の見込み
D.若干悪くなる	A.建築	D.新潟支部	35	先々の案件があまり厚みがない
D.若干悪くなる	B.構築	E.東海支部	36	期待感なし。
D.若干悪くなる	C.産業機械	E.東海支部	37	先の良い話も聞かせてこそ、不透明感が強い。
D.若干悪くなる	E.店売り	C.東京支部	38	実需が無く荷動きが悪い中で回復の見通しが全く立たない状況
D.若干悪くなる	H.船舶/自動車/その他	G.中国支部	39	プロジェクト物件が希薄で先々の数量が積れていない
E.悪くなる	A.建築	C.東京支部	40	これからさらに悪くなっていく
E.悪くなる	B.構築	C.東京支部	41	新設構築の出件は低調
E.悪くなる	E.店売り	F.関西支部	42	足許良い話が見当たらない。

zsk 鋼板流通調査

(2026年1月)

※暦年・年度推移の月末在庫は最終月の在庫 (単位:ト)

	受入	成品切板 A	未切断鋼板 B	出荷計 A+B	月末在庫※	賃加工 C	切断量 A+C
暦年推移	2016年	1,970,109	1,429,156	520,849	1,950,005	381,003	1,709,748
	2017年	2,031,642	1,472,558	551,573	2,024,131	388,514	1,741,280
	2018年	2,092,515	1,571,732	528,578	2,100,310	380,719	1,804,432
	2019年	2,065,877	1,488,734	518,625	2,007,359	439,237	1,685,676
	2020年	1,617,047	1,266,274	439,138	1,705,412	350,872	1,401,424
	2021年	1,870,147	1,371,712	469,343	1,841,055	379,964	1,499,408
	2022年	1,977,115	1,406,349	509,849	1,916,198	440,881	1,548,947
	2023年	1,739,445	1,357,980	459,675	1,817,655	362,671	1,489,553
	2024年	1,627,298	1,231,964	402,997	1,634,961	355,008	1,357,334
	2025年	1,572,009	1,173,740	417,120	1,590,860	336,157	1,285,801
年度推移	2020年度	1,624,770	1,252,311	436,079	1,688,390	350,531	1,378,581
	2021年度	1,950,255	1,388,858	483,828	1,872,686	428,100	1,518,341
	2022年度	1,901,446	1,408,368	505,983	1,914,351	415,195	1,549,573
	2023年度	1,733,317	1,333,544	442,366	1,775,910	372,602	1,463,713
	2024年度	1,571,838	1,197,994	411,424	1,609,418	335,022	1,324,593
月次推移	2024/8	115,016	89,334	29,043	118,377	384,506	98,252
	9月	126,657	99,063	34,850	133,913	377,250	108,668
	10月	139,338	108,553	32,823	141,376	375,212	118,649
	11月	122,180	100,365	33,048	133,413	363,979	111,337
	12月	116,426	95,558	29,839	125,397	355,008	109,205
	2025/1	130,513	91,829	39,798	131,627	353,894	101,379
	2月	121,154	95,236	34,745	129,981	345,067	106,432
	3月	124,751	97,319	37,477	134,796	335,022	109,121
	4月	134,559	96,975	34,146	131,121	338,460	105,788
	5月	145,541	97,916	33,885	131,801	352,200	105,282
	6月	136,271	101,945	36,036	137,981	350,490	113,023
	7月	140,207	104,337	37,709	142,046	348,651	113,973
	8月	114,860	87,253	28,711	115,964	347,547	93,116
	9月	128,024	98,738	34,736	133,474	342,097	108,448
	10月	136,737	105,782	34,712	140,494	338,340	115,451
	11月	130,953	98,027	32,422	130,449	338,844	106,186
	12月	128,439	98,383	32,743	131,126	336,157	107,602
2026/1	135,387	97,882	30,773	128,655	342,889	107,001	
前月差	6,948	▲ 501	▲ 1,970	▲ 2,471	6,732	▲ 100	▲ 601
前月比	105.4%	99.5%	94.0%	98.1%	102.0%	98.9%	99.4%
前年同月	130,513	91,829	39,798	131,627	353,894	9,550	101,379
前年同月比	103.7%	106.6%	77.3%	97.7%	96.9%	95.5%	106%

支部別集計(当月)	北海道	3,376	2,730	934	3,664	20,139	75	2,805
	東北	2,679	1,951	268	2,219	9,438	4	1,955
	東京	44,867	32,205	12,137	44,342	93,665	1,940	34,145
	新潟	1,956	1,692	402	2,094	7,855	22	1,714
	東海	14,484	12,585	2,882	15,467	49,200	344	12,929
	大阪	31,778	19,220	7,919	27,139	72,418	2,625	21,845
	神姫	18,999	15,079	2,799	17,878	26,483	510	15,589
	中国	4,694	4,088	1,007	5,095	17,771	1,066	5,154
	九州	12,554	8,332	2,425	10,757	45,920	2,533	10,865

組合員数161(149社12事業所)

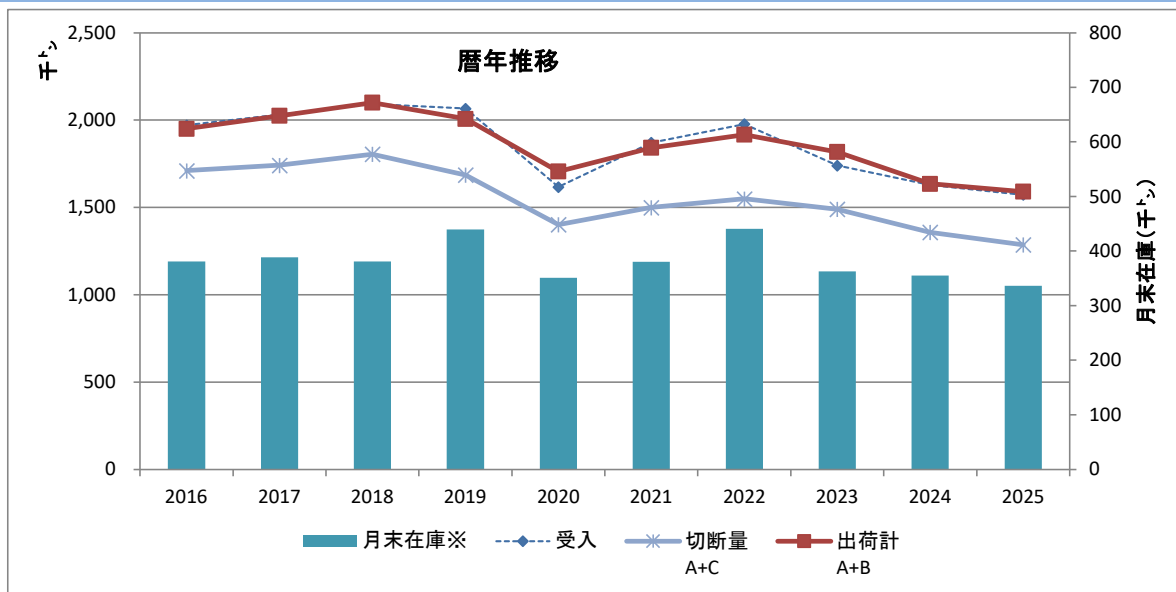
zsk 全国厚板シヤリング工業組合

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館 6F

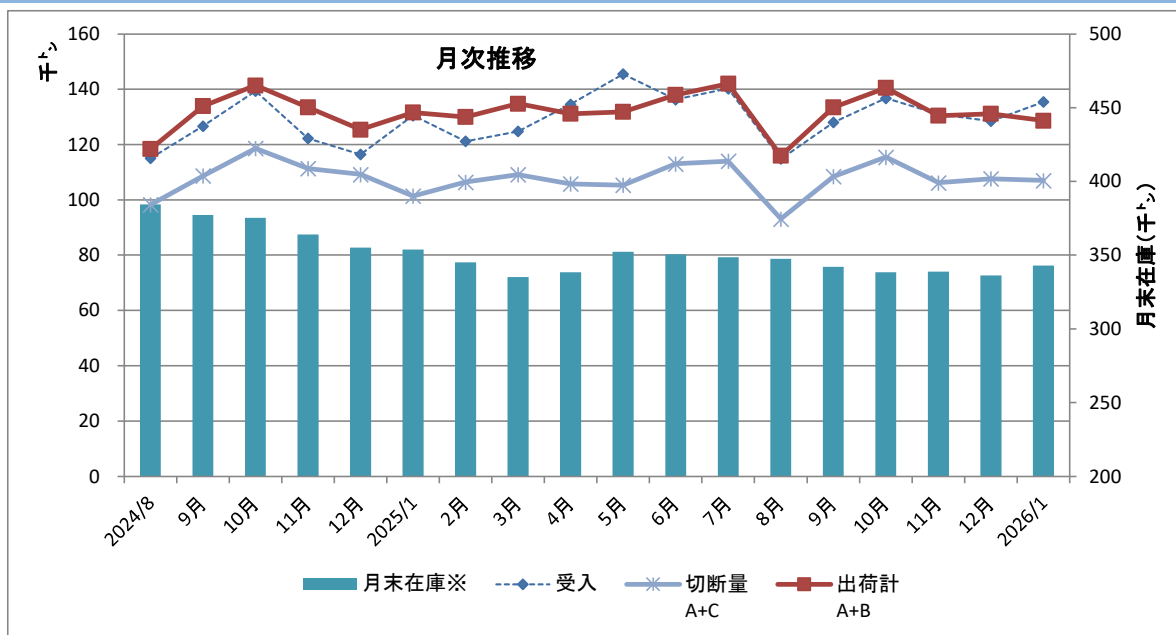
電話: 03-3669-0641 FAX: 03-3669-0658 URL: <https://www.zsk.tekkoo.jp/>

Version5

■ 暦年推移



■ 月次推移



■ 在庫推移

	全国	北海道	東北	東京	新潟	東海	大阪	神姫	中国	九州
8月	347,547	22,015	8,986	95,903	7,278	53,326	67,473	26,970	17,606	47,990
9月	342,097	21,969	8,997	94,294	7,363	51,722	67,493	26,279	17,824	46,156
10月	338,340	21,588	8,878	93,889	7,520	51,272	67,278	26,362	17,215	44,338
11月	338,844	21,284	8,849	93,537	7,703	50,498	68,551	25,673	18,083	44,666
12月	336,157	20,427	8,978	93,140	7,993	50,183	67,779	25,362	18,172	44,123
2026/1月	342,889	20,139	9,438	93,665	7,855	49,200	72,418	26,483	17,771	45,920

■ 在庫率推移

	全国	北海道	東北	東京	新潟	東海	大阪	神姫	中国	九州
8月	299.7%	771.1%	436.2%	257.9%	399.2%	340.5%	286.8%	147.9%	350.1%	500.8%
9月	256.3%	581.0%	364.7%	214.5%	290.3%	298.5%	256.4%	126.7%	340.2%	416.2%
10月	240.8%	524.4%	340.2%	206.5%	271.2%	296.6%	227.5%	122.9%	300.5%	386.0%
11月	259.8%	475.0%	395.6%	217.7%	359.3%	303.6%	253.5%	126.9%	401.0%	437.3%
12月	256.4%	585.6%	356.4%	213.5%	399.8%	310.6%	245.8%	137.4%	326.1%	376.0%
2026/1月	266.5%	549.6%	425.3%	211.2%	375.1%	318.1%	266.8%	148.1%	348.8%	426.9%

